



藤井栄一郎 議員
(清明会)

問 公共交通(のりあい交通)の充実は!

のりあい交通の現状と課題は何か?利用登録者が4,912人と聞か、利用登録者の増加目標はどれくらいか。「バスまちスポット」の登録増加、運行便数の増加や運行車両をワンボックスカーにして、のりあい交通を更に充実させるべきと思うが考えを伺う。

答 効果的な運行内容を検討する

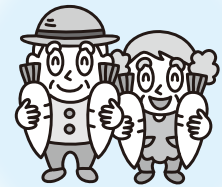
目標値は、1日当たりの乗車人数を設定している。今後は、登録者の増加を図る啓発を実施してまいりたい。令和3年度の契約更新時期に合わせ、利用状況や運行実績を分析し、事業の継続性が担保され、コストの抑制が期待できる効果的な運行内容を検討する。

問 農業の振興には耕作放棄地解消を!

魅力ある農業の振興には、農村環境の整備が必要である。当市の耕作放棄地の現状と課題は何か?耕作放棄地の解消に「白岡市の空き地の環境保全に関する条例」、多面的機能支払交付金事業や白岡版農業公社の設立で耕作放棄地の解消を図るべきと思うが考えは。

答 解消に向け対応してまいりたい

耕作放棄地は増加傾向であり、費用面からの離農・農地集積困難地域での担い手不足が課題となっている。耕作放棄地の解消に向け所有者の皆様へ農地の適正管理についてお願いするとともに、条例や各種事業の活用、JA出資型法人との連携を行っていきたい。



中村匡志 議員
(創政会)

問 ハードディスクの廃棄に問題はないか

神奈川県庁の廃棄したハードディスク18台が業者で横領され、オークションサイトを通じ転売される事件が昨年末に発覚した。被害に遭った情報機器は合計7844件にのぼり、個人情報保護の観点から深刻な懸念を惹き起こしている。当市の廃棄体制に問題はないか。

答 電子媒体の廃棄処理は適切に行っている

該当業者に廃棄依頼した当市の電子媒体は58件で、すべてデータ消去を書類で確認した。今後の廃棄は物理的な破壊やデータ消去ソフト等で廃棄処理し、原則、職員が立合うことや廃棄証明書及び廃棄確認の写真を提出させることで適切な廃棄処理を行っていく。

問 自動運転バスの検討状況は

茨城県境町では今年4月から自動運転バスが実用化され、県内でも着実に実証実験が進んでいる。菁莪地区を中心にバスの巡回を求める声が根強いが、当市の検討状況を伺う。また、高齢者も安全に運転できるサポカー・サポカーSの購入に補助金を出してはどうか。

答 国の技術開発等の動向を注視していく

現時点では、自動運転技術の活用に関する検討は行っていないが、国などの動向を注視して将来的な自動運転技術の活用に備える。サポカー等の補助金は、国の補助制度が創設されたことから、その周知を図り、より多くの市民に活用していただけるよう努める。



境町の自動運転バス(イメージ)